

岩手県地震・津波被害想定公表～大きな揺れを感じたら直ちに高台へ～

県消防防災課 ☎52-2173

■最大クラスの地震・津波被害想定

県は、県民の命を何として守るため、効果的な減災対策を検討することとし、最大クラスの地震・津波による被害想定調査結果を公表しました。

市で、被害が最も多い大きいのは、冬の夕方に日本海溝沖を震源とした、最大震度が6強クラスの地震が発生した場合です。調査結果はHPで閲覧できます。



▼URL: <https://www.pref.iwate.jp/curashikankyou/zenzanshin/bosai/jishinsunami/059428.html>

住民説明会を開催します

県から公表された地震・津波被害想定に関する説明会を、次の通り開催します。

11月		日	会場
30日(水)	29日(火)	25日(金)	24日(木)
久慈地区合同庁舎6階大会議室	中央市民センター大集会室	久慈市役所3階大会議室	久慈市防災センター3階(久慈消防署)



自主防災組織も積極的に活動

■津波避難訓練を実施

県が3月に公表した、最大クラスの津波が発生した場合を想定した津波避難訓練が、10月16日に行われ、市民1879人が参加しました。7時30分に防災行政無線で避難指示を放送すると、参加者は避難行動を開始。経路や避難場所を確認しました。

長内町の佐藤弘玄さんは、「県が公表した最大クラスの津波想定のは知っていたが、避難訓練で渡されたチラシを見て、自宅が以前よりかなり高い浸水深で驚いている。いざという時に備え、危機感を持って繰り返し訓練することが重要だと感じている」と語りました。

津波から命を守るために最も大切なことは、できるだけ早く高台へ避難することです。すぐに避難を開始し、避難速度を速めることで、人的被害を大幅に減少させられます。

都市間連携で共に未来へ

NEWS

歴史文化で結ぶ都市間連携会議

津軽藩始祖とされる大浦光信公にゆかりのある秋田県横手市、青森県鰯ヶ沢町、弘前市、黒石市は令和2年10月7日に「歴史文化で結ぶ交流宣言」を行い、交流の輪を広げています。

10月8日、市内催事場で歴史文化で結ぶ都市間連携会議が開催され、鰯ヶ沢町平田衛町長、黒石市高樋憲市長、弘前市櫻田宏市長、秋田県横手市高橋大市長が参加。遠藤市長は「少子化、人口減少が共通の課題であり、若者が残り住みたいと思えるまちにしたいかなければならない。自分のまちの歴史を知って、誇りを持っていくようにするためにも連携は意義がある。そのためにも今後の連携事業について協議をしていければならぬ



都市連携会議で交流を深めた5市町

い」と力強く述べました。連携会議では、各市町村で力を入れている事業や歴史関連事業を写真や資料を使用し紹介。今後の開催方針も話し合わせ、持ち回りで開催することが決定しました。来年は横手市で開催される予定です。

人口減少社会と私たち

NEWS

地方創生講演会



講演を行う山崎内閣官房参与

中学生に職業講演

NEWS

キャリアオーケストラ

10月13日、市内8校の中学生を対象に、キャリアオーケストラがアンバーホールで開催されました。講演会には市内29の企業や団体が参加。生徒たちは1人3カ所のブースを巡り、職業の種類や、仕事が普段の生活にどのように関わっているかなどを学びました。



熱心に説明を聞く生徒たち

10月6日、市内催事場で、山崎史郎内閣官房参与を招いて地方創生講演会を行い、約90人が参加しました。山崎内閣官房参与は、前駐リトアニア特命全権大使。令和元年度に親善使節団がクライペダ市を訪れた際に、同大使公邸を訪問し、交流を行った縁があります。人口減少で将来確実に起こる、さまざまな事態をしっかりと認識することや若年世代の働き方改革が必要であることなどを熱く語りました。

ワクチン接種のお知らせ

INFO

関ワクチン接種対策室 ☎54-8007

- ◆11月分の予約を受け付けています。接種を希望する人は接種券が届いたら、早目に予約しましょう。1、2回目の接種を希望する人は、ワクチン接種対策室に連絡ください。
- ◆12歳以上の接種
 - 接種時期が到来した人、接種券を発送します。予約枠の空き状況に応じて、発送を遅らせる場合があります。
 - ▼ワクチンの種類：ファイザー(オミクロン株対応)
 - ▼接種間隔の変更：5か月から3か月短縮。
 - ▼11月の接種会場：
 - ① おおさわ内科・胃腸科医院
 - ② おのぞ耳鼻咽喉科クリニック
 - ③ 久慈恵愛病院
 - ④ 関上こどもクリニック
 - ⑤ 国民健康保険山形診療所
 - ⑥ 集団接種(ロイヤルパーク)
- ◆小児接種(3回目)
 - 接種時期が到来した人、接種券を発送します。
 - ▼対象者：2回目の接種完了から、5か月以上経過した5歳から11歳の児童。
 - ▼ワクチンの種類：小児用ファイザー
- ◆乳幼児接種
 - 現在準備を進めています。決まり次第、広報やHPでお知らせします。
 - ▼対象者：生後6か月から4歳までの乳幼児。
 - ▼ワクチンの種類：乳幼児用ファイザー
 - ▼接種回数：3回
 - ▼接種間隔：2回目は原則20日の間隔をあげて接種。3回目は55日以上の間隔をあげて接種します。

あっぱれ! 100歳

ご長寿おめでとうございます



日蔭茂井 ナカ さん(長内町) 長寿の秘訣は食べること

9月30日に誕生日を迎えた日蔭茂井ナカさん。10月4日に遠藤市長が施設を訪問し、お祝い金とお祝い状を渡しました。ナカさんは下安家生まれ。一人の子どもに恵まれましたが旦那さんが戦死。浜の仕事や広い畑で農作業などを行って来ました。現在はお孫さんが面倒を見てくれています。ナカさんは「何でもよく食べます。お肉も大好きですよ」と長寿の秘訣を教えてくださいました。



西村 ミエ さん(夏井町) 長寿の秘訣は体を動かすこと

10月10日に誕生日を迎えた西村ミエさん。10月11日に市職員が施設を訪問し、お祝い金とお祝い状を贈呈。施設関係者と一緒に長寿を祝いました。ミエさんは湊町生まれ。結婚し4人の子どもに恵まれました。耳はあまり遠くなく、テレビを見るのが好き。施設内の移動は主に車いすを使用しています。長寿の秘訣を伺うと「何でもよく食べ、良く体を動かすことです」と笑みを浮かべました。